

第2回 豊岡市社会教育推進委員会 会議録

- 1 日 時 2026年2月6日(金) 午前10時開会 12時閉会
- 2 場 所 豊岡市役所 本庁舎3階庁議室
- 3 出席者 委員9名
清國祐二委員長、太田博章副委員長、赤松明生委員、山下恭子委員、
細川仙一委員、小松和巳委員、由留佐泰子委員、貝口志保委員、
加芝真理子委員
※欠席 佐藤春華委員
教育長、教育次長、教育総務課長、教育総務課参事、教育総務課社会教育係長
関係課
地域づくり課、多様性推進・ジェンダーギャップ対策課、文化・スポーツ振興
課、社会福祉課、学校教育課、図書館
- 4 議 事 (1) 説明事項
評価シートについて
(2) 協議事項
社会教育基本計画に係る取組の評価・検証について
・「取組状況」「所管課評価」について
・意見交換
(3) 2026年度の取組

会議録（要点記録）

注）この会議録は、発言内容を一元一句正確に記録したものではありません。発言内容をもとに一部表現（文言）を変えて表記している箇所があります。

1 開会	
2 あいさつ（清國委員長、嶋教育長）	
3 議事 説明事項	
清國委員長	<p>それでは、本日の委員会ですが、社会教育基本計画に関連する取組がどのように今後実施されて、所管課はどのように評価したのかということについて、議論をしていただきます。今後の方向性や改善点などが委員の皆様からご意見として頂戴できればと考えております。先ほど嶋教育長もおっしゃっていましたが、委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただきながら、この評価、また振り返りをして、次年度につなげていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、説明事項の評価、検証の方法について、事務局よりご説明をいただきます。</p>
事務局	<p>《事務局説明》</p> <p>資料1 社会教育基本計画 評価・検証実施要領</p>
委員長	<p>こちらについては手続きの確認ということの意味合いが強うございます。今回につきましては、各課から、実施状況を点検した上で、自己評価をいただいておりますので、それについてご意見をいただくこととなります。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>*異議なし</p>
委員長	<p>それでは、この方向で進めさせていただきます。</p> <p>評価シートについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《事務局説明》</p> <p>資料2 社会教育基本計画評価シート</p>
委員長	<p>膨大な量の事業、あるいはそれに対する自己評価ですが、それを一覧表にしているのが資料2です。先ほど教育長がおっしゃっていましたが、「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」を縦にご覧いただくと、このような事業数になっているということですので、全体像としては、このように取組がなされている。あるいは横を見ていただくと、すべての「づくり」について関わりのある事業と、一つだけをねらいとした事業と様々あるということが見て取れると思ひます。</p> <p>この基本方針の四つの「づくり」というのがありますが、これを関係課からご説明をいただきながら、それぞれについて、委員の皆様からご意見をいただきます。最初は「自分づくり」についてご説明をいただいて、皆様からご意見をいただく。その次が、「生きがいがづくり」についてご説明をいただき、ご意見をいただくと、そのような大まかな流れであるということを確認させていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。四つの柱、一つずつ確認をしていって、委員の皆様からご意見をいただくこととなります。</p> <p>ご説明をいただきながら、あるいは事前に準備されていることもございますので、それに基づいて、多様なご意見をいただければと思ひております。</p> <p>それでは、資料に基づいて、各課から説明をいただきます。「自分づくり」から願ひします。</p>
関係課	<p>《関係課説明》</p> <p>「取組状況」「所管課評価」について</p> <p>資料2 社会教育基本計画評価シート 「自分づくり」</p>
委員長	<p>「自分づくり」について関係各課から報告をいただきました。ご質問やご意見を頂戴できればと思ひます。</p>
委員	<p>最初、地域コミュニティビジョンのところで、「新しい地域コミュニティ」というホームページがあるのを知らなかったもので、初めて検索しました。各コミュニティセンターでこんなページを持っておられたと知って、すごく感激しました。その時職員が3人い</p>

	<p>ましたが、思わず知らせました。3人が住んでいる神美、弘道、福住のものを全部見ました。自己評価にも書いてありますが、地域によってすごく違います。更新されているところとされていないところがあります。例えば、神美だったら動画もありますし、離れて暮らしている方達にも懐かしいなあと思えるような部分があり、今住んでいる者にとっても魅力が再発見できるような作りです。あと、コミュニティセンターによってお金のかけ方が違うのでしょうか。どういうふうに作っているのかわかりませんが、ドローンの写真が入っているものもありました。私は但東に勤めているので、但東の高橋、合橋、資母と見せてもらいました。そこはもっと動画がいっぱい入っていて、見る側としては、どこの地区なのかによって、大分違うだろうと思いました。私たちもそうですが、SNSに対して得意な人とあまり得意じゃない人がいます。ホームページで発信しようという気持ちはわかりますので、できれば勉強会もされて、ホームページに動画ひとつでも入れられた方が、見てみようという気になるのではないかと思います。</p> <p>子育てセンターの立場で言わせてもらおうと、今、地域で子育てしよう、若い親子を孤立させないでおこうと思っても、コミュニティセンターから乳幼児学級がどんどんなくなっていくという現状があります。そこを補うために、子育てセンターでは、「おでかけ広場」という、おもちゃ等をいっぱい車に積んで、各地域に子育てセンターの職員が行って、地域の親子を呼んで遊ぶような事業をしています。コミュニティセンターによって、子育て、子どもにすごく注視しているところとそうでないところがやはりあります。特に但東だと子どもが少ないので、それを頑張ると思うとも、来る親子が少ないという部分もあるとは思いますが、やはり地域で子育てする、地域で孤立させないためにも、各コミュニティセンターが、子どもや親子に特化する事業じゃなくてもいいので、小さい子が来ても大丈夫ですよ、子育て真っ最中の人の方が来られても大丈夫ですよというような事業をやってもらえたら、子育てセンターの立場の者としてはうれしいです。</p> <p>協働事業というのが資料に書いてありますが、協働事業の中には、「スポーツクラブ21」は入っていないのでしょうか。例えば、奈佐の協働事業は0だし、福住、寺坂も日高も0です。各マネージャーさんにお任せされていて、多少カウントが違うかもしれないですが、どうでしょうか。</p>
地域づくり課	<p>おっしゃったようにマネージャーさんの判断によりますが、コミュニティ組織の中に「スポーツクラブ21」があると認識されていて、協働ではないということもあれば、別団体だから協働ということもあったりします。</p>
委員	<p>そのマネージャーさんによって違うかもしれないですね。</p>
地域づくり課	<p>そうですね。全組織を集めてこういう意味だという説明はできていないので。</p>
委員	<p>日高は大きいのに0というのが気になります。日高子育てセンターが「おでかけ広場」で行っているはずですが、協働じゃないものとして、カウントされていないのかもしれない。但東子育てセンターは、資母、合橋、高橋に「おでかけ広場」として行っています。合橋について確認したところ、カウントされているということでした。合橋は、子育てセンターとコミュニティセンターが同じ振興局内にありながら、乳幼児学級が存続されています。子育てセンターは日月が休みなもので、月曜日をあえて活動日にして、お母さんたちが来られるようにしてもらっています。同じ場所だから、同じ人たちが来るだろうということで、数年前、当時まだコミュニティセンターではなく公民館の頃に、合橋で始まった健康応援隊という事業があります。講師をコミュニティセンターの人たちが呼んで来て、一緒に行くという協働事業になっています。おそらく子育てセンターの中でそのような事業をさせてもらっているのは但東だけだと思いますが、但東は合橋を中心に振興局の中に入っているため、そういう事業がしやすいと思います。健康応援隊事業が必ずしも使えるかわからないのですが、日高子育てセンターとコミュニティセンターが子どもを集めて、健康応援隊のような事業を一緒にやればいいのかと思います。若いお母さんや親子でやってもいいです。日高コミュニティセンターにしても一つ協働事業ができます。五荘は、乳幼児学級を早くからなくすと決められています。五荘にも「おでかけ広場」が行っていますが、おそらく、五荘はたくさんマンショ</p>

	<p>ンとかアパートもあって、若い親子がたくさんいるのではないかと思いますので、コミュニティセンターの方々に、子育てしている親子が来られるような事業も考えてほしいです。</p> <p>それと、図書館で電子書籍が始まっていますが、一般書に比べて児童書が多いことにびっくりしました。なぜ子どもの方がこんなに多いのかと思いましたが、先ほどの説明で、朝読の対応ということで理解ができました。年配の人や図書館から離れたところに住んでおられる方が、電子書籍だと、家に居ながらにして借りて読んで、返しに行かなくても自動的に返っていくので、これから一般書の方も増やしてほしいです。</p>
委員長	<p>いろいろ多面的にお話をいただきましたが、コミセンとの関係の中で、もっと認知というか、実際にはやっているけれども数字に上がっていないものがあるのではないかと、あるいはもっと連携に前向きであればいいのではないかとという趣旨のご発言もあったかと思えます。コミュニティセンターの方の行政の関わり方というところで、補足いただけたところがありますか。</p>
地域づくり課	<p>行政からは、地域コミュニティ組織に対しまして、「地域づくり計画」というものを各組織に作っていただいて、実践をお願いしております。昨年度、全29組織がそれぞれ「地域づくり計画」を整備されまして、それに沿って取り組んでおられます。そんな中、地域コミュニティ組織の方、住民のみなさんが会員ですが、みなさん、高齢になっても、女性も、いろんな方が働く時代になっておりまして、なかなか事業を増やしていくのは難しくなっております。逆に課題のところにも挙げさせていただきましたが、持続可能にする場合に、どれを削って、どれを残して実施するか計画を立てておられます。困りごとたくさんあって、その困りごとを地域で解消していきましょうという中で、やはり優先順位を持ってされています。そこへ、こういう意見もありましたということはお伝えさせていただきますが、それがいいかということ、それぞれの組織の中、地区の中での課題が優先順位順ということになっておりますので、行政としては、コミュニティの意思を尊重することとなります。</p>
委員長	<p>説明としては理解ができたと思えます。住民自治という中で、優先順位をつけながら計画を立ててそれに基づきやっているということではありますが、今後、社会教育基本計画の視点から言うと、自分のところがすごく頑張らないといけないということではない連携の仕方があるかと思えたので、その辺の情報としては、お伝えいただければいいのではと考えるようなところでした。</p> <p>また最初のところで、ホームページがとても充実しているところがあって、感激をされていらっしゃったということですので、委員会の中で話題になっていたというのはぜひお伝えいただければ、頑張った甲斐があると思えました。</p>
地域づくり課	<p>今日、29のコミュニティセンターのマネージャーが揃う機会がありますので、ぜひ伝えさせていただきます。</p>
委員長	<p>お褒めいただいている部分もあると、皆さんやる気が出るかと思えます。</p>
委員	<p>資料をいただいて、少しわかりにくいと思って、集約表にまとめて、今日資料として出させていただきました。一番気になったのが、8番の教育総務課所轄の「生涯学習の推進」です。表を作ってみると、「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」の全部に入っている。全部当てはまるのは8番だけなので、そこに集中して見てみました。生きがい創造学院というのがあるんですね。みてやま学園という、県の事業だと思えますが、豊岡の住民の方が定年とか、高齢者になったら行かれる但馬文教府で高齢者向けの活動をする大学みたいなのが昔からあります。それとは別に生きがい創造学院もあるというのを初めて知りました。それから、今月号の広報に、生きがい創造学院の生徒募集があるのを確認できました。もともとは高齢者が対象で、他の事業の夏休み体験学習は、おそらく小学生と保護者が対象だと思います。この取組状況から見ると、対象者が子どもと高齢者で、二極化しているような気がします。その間の私たち世代というか、働き盛りは過ぎていますが、ちょっと時間に余裕があるような人に対する講座がないなと実際感じています。私は、個人的にリカレント教育として通信教育で大学に行っていますが、豊岡市のリカレント教育って全然聞こえてこないです。社会</p>

	<p>教育への理解と推進って市長も言っておられますが、そんなことももう少し網羅されてやればいいのではないかと思います。50代60代向けの講座がなくて私は大学に再入学したのですが、社会人向けのリスキリングは、働いていらっしゃる方の技術習得とか講座とか、いろんな方法があると思います。すぐには難しいと思いますが、すべての年代が社会教育の対象なので、均等に平等に参加できるような講座を検討されたらいいのではと思いました。</p>
委員長	<p>課題のところにも書いてくださっています。固定化というか、高齢者と子どもさんの二極化というようなどころのご指摘をいただきました。リカレントやリスキリングというと、専門学校や高等教育機関がどう関わるかというところが大事になりますから、行政として、タイアップしながらできるところがあればというご意見だったと思います。</p>
委員	<p>それと、その関係で図書館に行ってみました。恥ずかしながら、図書館に行ったことがなくて。電子図書が利用したくて、出石分館に行って利用者登録してもらいました。見てみたら、児童書が多いのは仕方ないかもしれないですが、専門書が少なく、電子図書が私には使えないというイメージでした。他には、図書検索して読みたい図書を予約したら、例えば出石にない本でも豊岡にあったら豊岡から取り寄せていただいて取りに行けるというサービスがあると聞いて、これはいいなと思って早速予約しました。取りに行ったついでに、どんな本があるのか、図書館を見せていただきました。私が必要な本があったので借りましたが、割と使えるなという印象でした。図書館の資料には、どういうサービスをしているか書いてあります。例えば、豊岡市の図書館にない書籍を、県内の図書館から取り寄せできて無料で借りられる。県外の図書館だと送料が有料だけど借りることができると書いてありました。ひょっとしてこれはリカレント教育に広がっていったら使えるというところで、例えばその辺の仕組みを縦割りじゃなくて教育委員会と何かされてもいいのではないかと思います。図書館も、高校生も勉強していましたし、歩行器に乗って来られた年配の方も利用されていましたので、出石しか知らないですが、割と皆さん利用されているという印象を受けました。</p>
委員長	<p>足を運んでいただけると、いろんなことが発見していただけるのかなと思います。それでは、続きまして「生きがづくり」の方に入らせていただきます。</p>
関係課	<p>《関係課説明》 「取組状況」「所管課評価」について 資料2 社会教育基本計画評価シート 「生きがづくり」</p>
委員長	<p>それでは、「生きがづくり」につきまして、「自分づくり」と重なる部分が多いということは、表からも見てとれますが、先ほどと関連されても構いませんので、何かご意見がございますか。</p>
委員	<p>スポーツ協会の会長をしています。障害者のスポーツが開催されていますが、スポーツ協会とは、全く離れている感じがします。私はスポーツ協会の役員をして、10年ぐらいになりますが、どうして障害者のスポーツする人と一緒にできないのだろうか、やっているのだろうかと思っていました。同じスポーツをする仲間だから、同じ日に、同じ時期に開催するとか、スポーツ協会のスタッフを障害者スポーツの方に何人か送り出して、障害者スポーツも応援するということができたらいいいと思います。それと、去年、スポーツフェスティバルで、スポーツ体験会を私の協会でしました。2年連続でスポーツ体験会をさせてもらいまして、8協会が参加して、343人のお客さんに来てもらえました。親子やじいちゃん、ばあちゃんも一緒に来てくれるので、すごくいいことだと思います。外でする種目が二つ三つと体育館でする種目が5、6種目あります。そして、この大会に参加した人の何人かがもう1回ここに加盟させてもらいますということがありまして、すごくいいことだと感じております。各協会の人たちは、来年もお願いしますということで、「自分づくり、生きがづくり、つながりづくり」ということが皆ひっくるめてやれていて本当によかったので、障害者の方々とも一緒にできたらいいいと思います。</p>
委員長	<p>非常に重要な視点をいただけたと思います。この点については、文化・スポーツ振興課と社会福祉課ですね。この辺りの情報共有は行われていると思いますが、現状を少し</p>

	ご説明いただけますか。
文化・スポーツ振興課	スポーツ推進員というのはスポーツ協会とはまた別にあります。先ほどのスポーツフェスティバルは、スポーツ協会とスポーツ推進員とが一緒になってやったださっています。スポーツ推進員は各地域に2人ずつぐらい、全部で50人ぐらいおられます。その中から、障害者スポーツ関係の応援派遣という形で、当日の運営に当たったり、実行委員会にも参画をずっとされたり、最初から最後まで、そのイベントが終わってからの反省会まで一緒に関わって次の大会につなげるような、そういう立ち位置で参加させていただいております。
委員長	今後の見通しとして社会福祉課はそのあたりどうでしょうか。
社会福祉課	現在、身体障害者スポーツ大会の方につきましては、身体障害者の福祉協会の方に委託をさせていただいております。スポーツ協会の後援をいただいて、連携をとってこの事業を実施しているところです。スポーツチャレンジ大会につきましても、今、文化・スポーツ振興課が申しましたとおり、大会の当日でもニュースポーツ等の体験会ということで、スポーツ推進員にご指導いただきながら実施しております。今後も連携していきたいと考えています。
委員長	連携はそういうことですので、また会長さんからもそのことをお伝えいただきたいと思います。
委員	わかりました。推進員とうちのスポーツ協会とはちょっと離れているので、話がツーカーじゃないというか、これもはっきりしたいというところもあります。推進員の方はやってもらっているということで了解しました。これから一緒にできたらいいと思います。また相談したいと思います。
委員長	こういう機会があったら分かるということですので、本当にありがたいことだと思いました。その他何かございますか。
委員	コミュニティの施設を時々、いろんなことでお借りしていますが、弘道のコミュニティを使うときは、そこの地区に住んでいる人が6割以上いないと部屋代がかかることがあります。例えば、私が来たために部屋代がかかるようになったとか、借りられる部屋もそんなたくさんあるわけじゃなくて、福住のコミュニティもお借りできるけれども、自分たちのコミュニティじゃないから、部屋代を全額払わないといけないとかいう話を聞いています。豊岡市も一つの市にまとまったのだから、コミュニティ同士、自由に借りられるようになったらありがたいと思っています。0.何%足りないから部屋代がいりますということもあつたりしますので、有効に空いているところを貸していただけたらありがたいというのがお願いです。
委員長	社会教育基本計画のこととは違うけど、そういうご要望があるということですね。また持ち帰っていただければと思います。 すいません。「自分づくり」「生きがいがづくり」のところで、検証結果にAとBで記載をされております。それが自己評価をしていただいた結果ですが、これについて、「いや、これは、Bじゃないんじゃないか」「Aじゃないんじゃないか」というようなことがないかを確認するということを失念しておりました。この自己評価について、お認めをいただいて、そのあと自己評価の理由が課題だと認識すれば、その課題を次年度に向けて取り組んでいこうということだと思っておりますので、まず、評価のA B C D、この評価で相違ないとお認めいただけるかということを確認しておかなければと思います。よろしゅうございますか。
委員	※異議なし
委員長	その方向で担当課の皆様方には、現場の方を前に進めていただければと思います。それでは、「つながりづくり」の方に進めていきます。文化芸術振興計画の方からお願いします。
関係課	《関係課説明》 「取組状況」「所管課評価」について 資料2 社会教育基本計画評価シート 「つながりづくり」
委員長	「つながりづくり」の説明を終了いたしました。次の「まちづくり」は、これまでで説

	<p>明をいただいているところでございますので、3番目4番目の「つながりづくり」「まちづくり」は、一緒に検討していただければと思います。これまでの説明の中で皆様方が気になったところと検証結果について、ご質問、ご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>「つながりづくり」の33番に、取組状況でスマホ・ケータイ安全教室講師派遣と青少年の適切なインターネット利用に関する講演会を開かれているというのが気になりました。スマホ・ケータイ安全教室講師派遣の方で、今年の場合は5校について実施をしたと書いてあります。今の情報社会の中で、これはすごく必要なことだろうと思ひまして、豊岡市の学校全域で、是非とも実施していただく必要があると思ひます。インターネットの方もですが、いろんなことに引っかかってしまうということがあるので、これはすごく必要なんじゃないかと思ひまして、5校だったので、他の同じ豊岡市に住んでいる子どもたちが、同じ情報を聞けるということができたらいいのにと感じました。というのも、私は以前、社会福祉協議会におりまして、福祉学習を担当していたことがあります。その中で、旧豊岡市内の小学校、中学校、高校に伺うことがありました。福祉学習といいましても、障害の聴覚、視覚、車椅子とかいろいろありますが、先生とお話させてもらって、授業内容を考えることからさせてもらっていました。豊岡市の場合は、福祉学習が4年生ということで、福祉学習を総合の時間に含めるかは先生の裁量に任されていると聞きました。私は、学校と講師の先生(障害者)をつなげていました。視覚障害や車椅子の方では、ボランティアでいいという方がいらっしゃいましたが、聴覚障がいの方の授業を依頼する場合の講師は、健康福祉センターの中にあるたじま聴覚障がい者センターから派遣をするということに決まっておりました。そこは自分たちの活動を進めていくということで有料になっています。聴覚障害について知る機会が少ないので、是非ともって言われても、聴覚については有料であるとお伝えすると、予算がないですとおっしゃる学校が多いです。聴覚障害の学習を選ばれる学校がすごく少なくて、豊岡市の中でしたら、2校ぐらいしかなかったです。私も授業を見せてもらい、聴覚障害だとういことなのかというのを初めてそこで知ったということもあって、小学校4年生ぐらいで、そういうこともあるということを知るだけでも全然違うと常に思っています。有料であるためにほとんどの学校が受けとくたさらないと、子どもたちにそれが伝わりません。ずっともったいないと思ひしていました。朝来でしたか、もし学校でそれを依頼したいと決めたら、その経費は市の方から出してもらえると聞きました。ほとんど全校依頼されると聞いたことがあって、ぜひ豊岡市内の学校で平等にできたらと以前から思ひしていました。スマホとかインターネットとか、こういうのも今の時代に必要なことです。よその国では16歳以下は使つてはいけないと決めているところもあったと思ひますが、この時代にそんな停止しているよりは、こういう教育の方を進めたほうがいいのではないかという思ひがあります。</p>
委員長	<p>これは予算の関係で学校が限定されているというようなことでしょうか、それとも別の理由でしょうか。</p>
教育総務課	<p>このソーシャルメディア研究会というのが、兵庫県立大学の竹内教授が立ち上げて運営されていて、講師として学生を派遣していただきます。大変人気がある講座で、ソーシャルメディア研究会の方で上限を5校と決めておられて、これ以上は増やせないです。</p>
委員長	<p>竹内先生は有名な方ですね。そうなんですね。ということは何年かかけて、全体にというようなことですか。</p>
教育総務課	<p>そうですね。毎年たくさん手を挙げていただいていますので。</p>
委員長	<p>いろんな制約があるみたいですね。大分県も、ある中学校で大きなじめの問題が最近起こつて、中学校も大分市もその対応で大変な状況です。また来年の人事にも関わるようなことでもありますので、おっしゃつたように教育により、いかにリテラシーを高めていくかというのは本当に大事だと思ひました。</p> <p>いかがでしょうか。どこでも結構です。</p>
委員	<p>「自分づくり」の部分で、子ども会活動を出していただいています、時代の流れが変わつてきて行事もいろいろあると思ひます。これが最終的に見たら子どものまちづく</p>

	<p>りにも関連するような、要するに将来のまちを作っていく子どもに対する活動になるようなことも考えたテーマで補助金を使っていたきたいです。内容の精査をされているとは思いますが、やはり時代がいろいろと変わってきている中で、「自分づくり」「つながりづくり」などいろんな面もあります。ですが、やはり少子化もありますし、最後に、将来この町に帰ってきて、この町を良くしていこうというような思いになる活動内容になってきたらいいと思います。去年していたから今年もこれをしようとなりがちですが、それを方向転換することもこの際必要です。子ども会活動が、子どもが、この豊岡市に生まれて良かったな、また豊岡市に帰ってきたいなと思うような、そういう内容のものになるよう、ぜひ検討を加えていただけたらありがたいです。</p>
委員長	<p>世代間交流でやっておられると思いますが、そこにもう少し一歩踏み込んでつながりをということで、またそのあたりも働きかけをお願いしたいということですね。</p>
委員	<p>それと、先ほどのスマホ・ケータイ安全教室ですが、一応各校回るように、年度ごとに手配して、同じ学校に行かないように、できるだけ均等に回るようにしています。また、今の時代の流れで、ソーシャルメディア研究会以外のところでもスマホ教室をされているところがあって、各学校の方で参加されています。青少年健全育成地区会議連絡会の会長をしているので、付け加えさせていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>いろいろ説明等を聞かせていただく中で、やはり事業数が多く疲弊感ですとか、参加者の固定化というところが本当に一番問題なのかなと思いました。学校もこれまでいろいろな行事をやってきましたが、やはりコロナですとか、それから生徒数、職員数の減少ということで、これまでどおり同じことができない状況です。例えば体育祭であれば暑さ対策ですとか、それ以外の理由もありますが、どういうふうに取り組んでいくかということを考えながら進めている状況です。もちろん、学校の現場と同じようなやり方は難しいかもしれませんが、学校はやはり子どもを中心に据えてやるというところを一番にしています。ただ、これまでやったから、来年も続けてというのではなくて、できなければ、新たに何かできないかと考えます。状況によったら、思いきってここは減らそうというところも含めて、職員、保護者の方やコミュニティスクールみなさんと相談しながら進めているという状況です。その辺のバランスとか状況とか難しいとは思いますが、中学校はそういう状況で進めているというところなんです。また、私自身の反省として、今回、委員の方々がおっしゃいましたが、私自身もこれを見て、こんなことをされたんだなというところがありました。中学生もやはり知っているようで知らないところがあります。ですので、もし、学校が協力できることがありましたら、協力していきたいと思います。委員長からありました学校の方は探究活動ということで、総合的な学習の中で、状況によっては地域に出て教えていただく、専門の知識・技能のある地域の方々に教えていただくということもあります。ジェンダーですとか、それから図書館とか、食育の方でもいろいろと教えていただきましたので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>ここで、全体の計画についてご承認をいただいて、最後のまとめというところになるかと思いますが。時間が限られておまして十分発言がいただけていないところについては申し訳ございません。また引き続き、委員の皆様からご意見等がございましたら、事務局等に連絡いただければ幸いです。後段の「つながりづくり」と「まちづくり」のところについて、Cという見直しの評価も出てはおりますが、その原因もお話をいただきました。今後、そういう意味では、見直し、足し算だけではなくて、何が必要なのかということに基づいて見直しをしていただくというようなことでございました。検証結果について、委員の皆様お認めいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>※異議なし</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では、議題の評価シートに基づいた議事につきまして、これで終了させていただきたいと思います。</p> <p>全体で何かご意見があればということですが、いかがですか。</p>
副委員長	<p>ご発言いただいた方でも、最後に何かご意見があればお願いします。</p>

委員	<p>社会教育推進委員会の委員にならせていただいて、この評価シートを評価するにあたって、算定基準というか、社会教育という範囲がよく分からなくて、どういう基準でこういう事業をされたかという、例えば、アートシーズンでしたら、他にも音楽的な「おんぷの祭典」とかもあるし、防災的なこともあるでしょうし、そのあたりが分からなくて、また教えていただきたい。あと、最近豊岡市は、結構LINEでいろいろと情報をご提示されていて、こんなのしているのかってすごくわかりやすいので、LINEとの連携、各事業とかの連携で、市民の皆さんにアナウンスするというのが大事だと思います。また、最近「シビックとよおか」というのができて、こういう委員会ではなく、市民から情報を吸い上げられるのはいいことだと思います。市役所だから仕方がないかもしれませんが、縦のつながりが強くて横が薄いような気がします。せっかくなので、もう少し何かつながって、その効果が上がるようなことをされたらいいのではないかと感じました。</p>
委員長	<p>まとめにふさわしいご意見でした。</p> <p>今年度からですので、そういった積み上げができてくると、横も広がって行って、いろんな見直し、建設的な見直しに繋がるのではないかと思います。</p> <p>それでは、次第4の2026年度の取組について、新たに実施する予定がございましたらご説明をいただきます。</p>
4 2026年度の取組	
教育総務課	<p>来年度は、社会教育・生涯学習人材バンクの開設を予定しております。様々な講座の情報を一元化して、講師を紹介したり、教えたことや特技などを持つ市民を発掘したりなど、市民が学び合えるしくみを構築したいと考えております。</p>
委員長	<p>それはまたご案内があるんですね。市民に向けて、そういう手を挙げてくださいますか。</p>
教育総務課	<p>そうです。実際には予算の関係もありますので、オープンになるのは議会の議決を得てからですが、今のところそういった取組を考えているということです。</p>
委員長	<p>それも横断的に行われるというような機会ができるかなと思いました。</p> <p>そうしましたら、時間も参りましたので、本日の議事につきましては、これで終了させていただきますと思います。委員の皆様方には進行におけるご協力をいただき、また様々なご発言もいただきました。ありがとうございました。では、事務局にお返しいたします。</p>
5 意見交換（全体）	
委員	<p>※3議事の中で発言済</p>
事務局	<p>清國委員長、どうもありがとうございました。</p> <p>本日、ご意見をたくさんいただきましたが、取りまとめにつきましては、委員長と事務局の方で進めさせていただきたいと考えております。ご一任いただくということでしょうか。</p>
委員	<p>※異議なし</p>
事務局	<p>本日は大変貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございました。それでは、次第の6に移ります。</p>
6 その他（事務連絡）	
7 閉会（あいさつ 副委員長）	